

広島大学大学院教育学研究科 教職高度化プログラムの成果と展望



2013. 12. 8 於:広島大学教育学研究科K102講義室
福山市立城南中学校
教諭 渡邊 博之

◆はじめに◆

- * 2010年(平成22年)3月
広島大学教育学部第三類国語文化系コース卒業
- * 2012年(平成24年)3月
広島大学大学院教育学研究科国語文化教育学専修修了
(教職高度化プログラム)
- * 2012年(平成24年)4月
広島大学附属中・高等学校に非常勤講師として勤務
(担当:中2・高1国語総合(古典))
- * 2013年(平成25年)4月
福山市立城南中学校に初任者として勤務

◆現在の状況◆

全校生徒数694名(福山市2番目の規模)
第2学年の3クラス(全7クラス)の副担任



教科は中1・中2を担当
部活は女子バスケットボール・城南太鼓部の副顧問
校務分掌は生徒指導部

◆現在の状況◆ ～教科指導の充実～



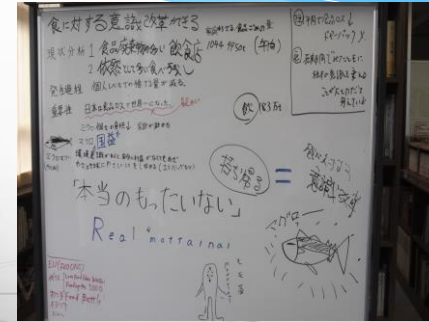
ブレインストーミングを使った詩の一連創作(中2)

◆現在の状況◆
～教科指導の充実～



【「ドラえもん短歌」を使った短歌の創作（中2：初任者研究授業）】

◆現在の状況◆
～ディベート甲子園への挑戦～



【生徒と議論を深めていったホワイトボードの記録】

◆現在の状況◆
～ディベート甲子園への挑戦～



【中国・四国地区中学・高校ディベート選手権（ディベート甲子園）の様子】

◆現在の状況◆
～ディベート甲子園への挑戦～



【城南中学校文化祭でのディベート発表の様子】

◆ 大学院での学びと現在とのつながり ◆

* 実践的指導力をつける実習

アクションリサーチ実習Ⅰ・Ⅱ (広島大学附属東雲中学校)
課題解決実習Ⅰ・Ⅱ (安芸高田市立八千代中学校)

* 理論と実践の統合をはかる共通科目群

Ex)M1後期:教育課程編成・評価の理論と実践
M2前期:生徒指導・教育相談の理論と実践

◆ 教職高度化プログラムの充実にあたって ◆

* 研究者養成のプログラムとの密接な連携

「テクニック」だけではない、理論と実践を統合した学びを。

* 外部への積極的な発信

成果を学会や雑誌、学校現場等へ発信し、多くの意見を貰う。

◆ おわりに ◆

「知力・体力・気力、現場に必要な「力」はどれかと現場の教師に聞いたとき、「体力・気力」が一番に挙げられると聞く。それが残念で仕方ない。大学でせっかく「知力」を与えているつもりなのに、それが全く使えないという表れかのようなのである。」

学会でこのような話を聞いたことが強く印象に残っている。

私は大学で「知」を与えてもらった。それは今、確実に「力」となって現場での実践に活かしている。

常にこの先も「学び続ける教員」でありたい。

ご静聴ありがとうございました。



修学旅行で行った和歌山県の千畳敷にて